



### <実施概要>

日時：令和3年9月29日（水）

15:00～16:30

場所：楽校の宿あるせ、有瀬公民館

参加者：31名（WEB参加者含む）

有瀬上・下・谷間地区のみなさま・

三好市・徳島県西部総合県民局・

四国山地砂防事務所

協力：京都大学防災研究所 斜面災害研究

センター附属徳島地すべり観測所

准教授 山崎 新太郎 氏

当日は、「第1部：勉強会」、「第2部：話しあい」の2部構成で実施しました。

いつ・どこで発生するのか予測することが困難な土砂災害に対して、地域の高齢者や乳幼児を含めた住民が安全に避難するためには、住民1人ひとりが、今何が必要なのか自らの問題として考えることが重要です。

そこで、有瀬地区（徳島県三好市）にお住まいのみなさんと、土砂災害の種類（地すべり・土石流・がけ崩れなど）や近年の発生状況、有瀬地区で想定される土砂災害の特徴について知ってもらうための勉強会に加え、地区の安心・安全について話しあいをする、「有瀬地区の自然災害について考える会」を開催しました。

当日は、地区のみなさんを中心に、大雨時の危険箇所や避難などについて活発な話しあいが行われ、地域の現状や課題について情報共有ができました。また、京都大学防災研究所 徳島地すべり観測所の山崎新太郎准教授に、山地での自然災害について、専門家としてのご助言をいただきました。

今後、当日の話しあいでの意見などを踏まえ、地区のみなさんと一緒に有瀬地区の現地を歩いて確認（まちあるき）し、更なる地域防災力向上に向けた検討を行う予定です。



第1部「勉強会」の様子



第2部「話しあい」の様子



WEB会議システムを活用



京都大学防災研究所山崎先生にもご協力いただきました！

### 参加者からの意見<抜粋>

- ・避難所までの経路は、高低差が大きい箇所、土砂崩れが想定される箇所もあり、移動しない方が安全な場合もある。
- ・高齢者が多いこともあり避難所まで歩くのが厳しいため、避難の際には車を使うが、水路や沢が氾濫して避難路を通行できなくなることがある。
- ・地区内の避難の際にお手伝いが必要な住民は把握しており、声かけをしている。そのため早めの避難情報が欲しい。 など 多数の意見が挙がりました。

※開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の分散、WEB会議システムの活用、検温、換気、手指消毒などを行いました。

